

建設 事例1 栃木県

【平成 20～22 年度指定】

参加高校：栃木県立宇都宮工業高等学校

栃木県立今市工業高等学校

栃木県立真岡工業高等学校

実施機関：栃木県教育委員会

社団法人栃木県建設業協会

日光の社寺から伝統技法を学ぶ 独自授業・学校設定科目「伝統技法」



■ 目 標

平成15年度から、社団法人栃木県建設業協会等と連携し、県内全ての建設系学科において実施しているインターンシップ推進事業をさらに深化させ、建設業界のニーズをふまえた人材育成プログラムを開発する。

■ 特 徴

- 寺社建築の特徴である銅版葺きなど、伝統技法・文化に関する授業（学校設定科目「伝統技法」）の導入と継続
- 2学年で実施するインターンシップ・現場実習への導入プログラムとして、1学年対象に「建設業仕事説明会」を実施
- 授業や資格試験指導で活用するビジュアル副教材を作成
- 人材育成支援ツールとして、事業への協力企業名、連絡先、実践内容等を含む「人材育成連携企業データベース」を作成
- 建設企業向け「現場実習・インターンシップ受入マニュアル」の作成

■ 内 容

学校設定科目「伝統技法」の導入と継続

新しい学習指導要領の内容を先取りし、世界遺産である日光東照宮、輪王寺など「日光の社寺」の見学、技術者による授業をモデル校1校で平成21年度から実施
寺社建築の特徴である銅版葺きなど、伝統技法の継承を図る指導を重視

〔授業〕

伝統技法のひとつである「銅版葺き」に関する講義と実習
世界遺産「日光東照宮」の見学

■ 成 果

教育課程上の 位置付け	<p>学校設定科目は2学年の選択科目、1単位として設定、 平成22年度は5日の集中授業として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○銅版葺きの基礎基本が習得できた。 ○地域の伝統技法、文化遺産を大切に作る心構えができた。
----------------	--

声

【すごさを感じた】

●東照宮を見て、改めて銅版葺きのすごさを感じ取りました。また、細部にいたるまでのこだわりを感じ、当時の職人の意識の高さを感じました。（生徒）

【多くのことを学んだ】

●初めは何もできないと痛感することの連続でした。しかし、その中で多くのことを学びました。特に学んだのは、「行動は無駄をなくし、作業は正確に」ということです。自分の進路を考える際にも視野が広がったと感じました。（生徒）

問合わせ

栃木県教育委員会事務局学校教育課 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-3382 FAX 028-623-3399
URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/m04/index.html>

社団法人栃木県建設業協会 〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1
TEL028-639-2611(代) URL <http://www.tochiken.or.jp/>

建設 事例2 長崎県

【平成21～22年度指定】

参加高校：長崎県立佐世保工業高等学校

長崎県立大村工業高等学校

長崎県立鹿町工業高等学校

実施機関：長崎県教育委員会

社団法人長崎県建設業協会

専門高校と産業界がタッグ

豊富な現場実習で実際的な技能訓練



■ 目 標

土木系学科における地域性・学科の特色を生かした建設産業界の担い手人材育成・確保のための教育内容を研究・実施する。また、時代のニーズに対応した実践的な人材育成プログラムを展開する。

■ 特 徴

- 県建設産業人材育成連携推進委員会を発足させ、より多くの建設関連団体及び企業の協力体制を確立、大学とも連携
- 建設産業界における実習訓練と専門高校における教育課程との関連について検討し、より効果的なプログラムを実施
- 専門高校と産業界が共同で、実際的な技能訓練を実施

■ 内 容

〔ねらい〕

建設工事現場実習を通して、地域産業界の発展と人々の安全かつ快適な生活環境を支えている社会基盤整備を実体験し、地域産業の担い手としての自覚と建設産業に対する誇りを育み、土木技術・技能者への入職促進を図る。

〔実施した現場実習〕

- ① 離島地区建設工事現場実習
- ② 県発注建設工事現場実習
- ③ 地域活性化のためのインフラ長寿命化体験実習
- ④ 土木材料基礎実験の現場実習
- ⑤ 建設工事現場実習

■ 成 果

県内の建設業への就職者数増加 (実施3校計 全卒業者に対する割合)	9.7% (11人) (H20) → 14.5% (17人) (H22)
土木関連の仕事への「興味・関心」	現場実習実施後に「高まった。」と回答した生徒 109人/162人

声

【充実した実習でした】

●この5日間は、現場に出て実際にたくさんのことを学ぶことができ、充実した実習でした。また、きついこと、楽しいこと、学ぶこと、社会人と接すること、土木についていろいろ学ぶことができた5日間でもありました。この5日間の実習を生かして、これからの学校での勉強や実社会に出てから、様々な所で生かしていきたいと思いました。そのためにも日々の土木の勉強を頑張り、実習先の会社の方のように立派な土木関係の仕事人になりたいと思いました。(生徒)

問い合わせ

長崎県教育委員会高校教育課 〒850-8570 長崎市江戸町2-13

TEL 095-894-3354 FAX 095-824-5965

URL:<http://www.pref.nagasaki.jp/koukou/>

社団法人長崎県建設業協会 〒850-0874 長崎市魚の町3-33

長崎県建設総合会館3階

TEL 095-826-2285 FAX 095-826-2289 URL:<http://www.ngsk-kenkyou.or.jp/>